

令和3年12月7日

教育関係機関長
高等学校長 様
教職員
関係者

北海道高等学校教育経営研究会
会長 辻 敏 裕

令和3年度北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラムの開催について
(ご案内)

初冬の候 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本会の研究活動に平素から高い関心とご支援を賜っておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、高等学校学習指導要領の改訂に伴い、いよいよ来年度からの年次進行による本格実施に向けて各学校においては教育課程の編成を終え、教育活動の具体的な計画を立てているところと推察いたします。

こうした中、本会では、新学習指導要領のポイントを探り、身近な教育改革をテーマに、各学校における課題や取組などについて議論を深めてまいりました。

今回の冬期フォーラムでは、夏期シンポジウムに引き続き「社会に開かれた教育課程の創造に向けて」をテーマにICTを活用した授業展開、総合的な探究の時間の評価などの実践例を学ぶことを中心に開催することとしました。基調講演の講師には京都精華大学教授 鹿野 利春 氏 を講師にお迎えし、ご講演を賜ることとしています。その後、ご参会の皆様方とともに、社会に開かれた教育課程の実施に向けた様々な取組について具体的に議論を深めてまいりたいと考えています。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、貴職の参加並びに学校運営の実務に携わる副校長・教頭や部長主任をはじめとした関係教職員へのご案内とご派遣について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

〈添付資料〉

- 1 令和3年度冬期フォーラム開催要項

令和3年度 北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラム開催要項

主催 北海道高等学校教育経営研究会
後援 北海道教育委員会（予定）

1 研究主題と研究課題

(1) 研究主題 北海道を元気にする高校教育

(2) 研究課題 「社会に開かれた教育課程」の創造に向けて
～ I C T活用の可能性と課題～ ～学力の三要素を評価する～

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が重視されており、ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、コンピュータや通信ネットワーク等の情報手段を適切に活用した学習活動の充実が求められています。また、ICTを活用することにより、クラウド上で教材を共有することや、解答結果の自動集計などで、教員の業務負担の軽減につながり、これまで以上に生徒たちと向き合う時間を確保することも期待されています。

観点別評価や「総合的な探究の時間」の評価については、具体的な実践例が少なく、各学校ではその対応に苦慮しているところと思います。

今回のフォーラムでは、新学習指導要領で大きな柱となっている「社会に開かれた教育課程」を創造するための「ICT活用の在り方」や「評価の改善」をテーマに京都精華大学 鹿野利春教授を基調講演講師に迎え、課題解決に真摯に向き合い、目前に迫った新教育課程の実施に向けて議論を深めてまいります。

2 期 日 令和4年1月9日（日）

3 会 場

**学校法人北海学園
フォーラム会場 北海商科大学2号館5階 多目的ホール**

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地
TEL (011)841-1161 (代)
地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

教育懇談会 実施しません

4 日 程

9:30 10:00 10:30 12:00 12:20 13:10 13:30 15:10 15:30 16:30 17:00

受付	開講式	基調講演	質疑 応答	昼 食	「ICT活用」に関する シンポジウム	休 憩	講演	評価に 関する 意見交換	閉 講 式
----	-----	------	----------	--------	-----------------------	--------	----	--------------------	-------------

5 講師・シンポジスト

- (1) 基調講演 [10:30~12:00]
(演題) 「高等学校における ICT 活用の方向性」
～「情報 I」とのカリキュラム・マネジメント～
(講師) 京都精華大学メディア表現学部教授 鹿野利春
質疑応答 [12:00~12:20]
- (2) シンポジウム
「ICT活用の可能性と課題」 [13:10~15:10]
基調講演と月例会をつなぐ(課題提起) [13:10~13:30]
実践・事例報告 [13:30~14:30]
《シンポジスト》
北海道別海高等学校長 佐藤一昭
北海道室蘭栄高等学校副校長 石橋 栄
北海道鶴川高等学校教諭 福間 あゆみ
株式会社学事出版「月刊高校教育」編集長 二井 豪
質疑応答 [14:30~15:10]
《コーディネーター》北海商科大学商学部教授 堂徳将人
- (3) 講演 [15:30~16:30]
(演題) 「評価の改善が高校教育を改革するか？」
(講師) 北海道札幌南陵高等学校長 柴田健一
- (4) 評価に関する意見交換 [16:30~17:00]
《司会・進行》北海道立教育研究所研究部長 城戸和彦

6 参加申込

- (1) 申込方法 下記の URL か QR コードからお願いします。
申し込み後内容確認の自動返信メールが記載したアドレスへ発信
します。着信しない場合はメールでその旨連絡願います。

問合わせ

北海学園大学
講師 小形 秀雄 (高経研事務局)
Mail: ikome4063@jcom.zaq.ne.jp

<https://forms.gle/MUH3XyggRbWacf8p9>



(2) 申込期日 令和3年12月22日(水) 23時59分までといたします。

(3) 参加料等 当日シンポジウム会場受付で納入をお願いいたします。

参加料 3,000円

※ 参加料には資料代が含まれています。

※ 参加とは別に会員の入会を受け付けます。詳細は事務局までお問い合わせ願います。

(4) その他 昼食は会場周辺の飲食店の利用をお願いいたします。
コンビニ利用や昼食持参の方には、昼食会場を用意します。

- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては Zoom での開催となることもありますので予めご了承ください。その場合には、12月25日～1月4日までに決定し、参加申込みの皆さまに直接お伝えするとともに、HPに掲載します。
- ※ 申し込み時に記載する URL につきましては、Zoom 開催となった時に利用されるアドレスをお願いします。
- ※ 参加申込みは、会場の関係から先着 100 名をもって締め切りとさせていただきます。

基調講演講師の鹿野利春（京都精華大学教授）先生は、大学卒業後、石川県の公立学校教員として勤務。2015年より文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室教科調査官。主に、高等学校情報科の学習指導要領改訂や教員研修用教材の作成に関わるとともに、情報関係施策に関わる。2021年より現職。

高経研 冬期フォーラム



主催 北海道高等学校教育経営研究会

後援 北海道教育委員会（予定）

日時：令和4年1月9日（日）10時～17時（受付9時半）

場所：北海商科大学2号館5階 多目的ホール

（札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地 地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結）

参加料：3,000円（※参加料には資料代が含まれています。）

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはZoomでの開催となることもありますので予めご了承ください（申し込み時に記載するURLはZoom開催となった時のアドレスをお願いします）。

基調講演講師： 鹿野 利春（京都精華大学教授） [10:30～12:20]

「高等学校におけるICT活用の方向性」

～「情報I」とのキャリアラム・マネジメント

シンポジウム：「ICT活用の可能性と課題」 [13:10～15:10]

基調講演と月例会をつなぐ [13:10～13:30]

実践・事例報告 [13:30～14:30]

<シンポジスト> 北海道別海高等学校長 佐藤 一 昭

北海道室蘭栄高等学校副校長 石橋 栄

北海道鷗川高等学校教諭 福間 あゆみ

学事出版「月刊高校教育」編集長 二井 豪

質疑応答 [14:30～15:10]

<コーディネーター> 北海商科大学教授 堂 徳 将 人

講演講師： 柴田 健一（北海道札幌南陵高等学校長） [15:30～16:30]

「評価の改善が高校教育を改革するか？」

評価に関する意見交換 [16:30～17:00]

<司会・進行> 北海道立教育研究所研究部長 城 戸 和 彦

教育懇談会は実施しません。

申込方法 下記のURLかQRコードからお願いします。

申し込み後内容確認の自動返信メールが記載したアドレスへ発信します。

着信しない場合はメールでその旨連絡願います。

北海学園大学講師 小形秀雄（高経研事務局）Mail: ikome4063@jcom.zaq.ne.jp

<https://forms.gle/MUH3XyggRbWacf8p9>



申込期日は令和3年12月22日（水）23時59分までとします。